



絆できらめく ひと・まち・自然 未来へつなぐ 共生の郷

みなさんと議会を結ぶ情報誌

議会だより

第55号

令和2年5月5日発行

さよう

明るく 羽ばたけ



も
く
じ

・第93回定例会	2
・予算特別委員会	4
・定例会議案審議	8
・一般質問 7人の議員が斬り込む	10
・委員会、組合議会報告	18
・議会の予定、編集後記	裏表紙

利神城跡応急対策に着手 高校卒業までの医療費無料に

3月定例会

3月定例会は、3月3日から19日までの会期で開催し、令和2年度当初予算14議案は、予算特別委員会を設置し2日間にわたり審査しました。計画等3議案、令和元年度補正予算9議案、条例改正26議案、町有財産無償貸付・譲渡4議案、規約変更、財産の取得、工事請負契約の変更、基本協定の変更、同意2件、諮問1件、発議1件は、すべて原案のとおり可決されました。一般質問には7人の議員が登壇して活発な議論を展開しました。

令和2年度予算の概要

令和2年度当初予算は、一般会計128億5568万円、特別会計・企業会計を合わせた総額は216億5732万円です。前年度比0・8%減となっています。

歳入

地方交付税は、合併特例増加額減率が70%から90%になるため普通交付税を51億2416万円見込んでいます。

地方債は、27・2%減の18億7620万円を借り入れる予定です。前年

歳出

比減額要因は、木材ステーション整備事業、町道小山安川線改良事業の事業費が大幅減となったことによるものです。

歳出では、少子化対策として取り組んでいる、

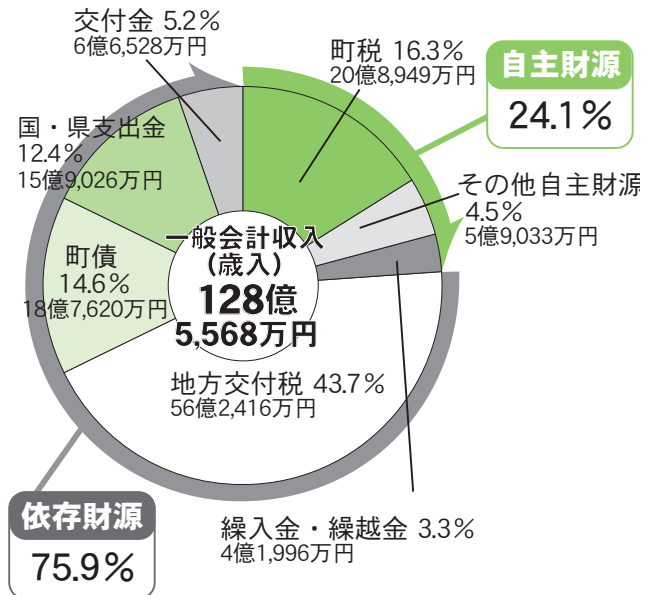
第2子以降の保育料無料化、児童・生徒副教材相当額を補助、給食費半額補助事業、若者住宅新築・購入などを支援する定住応援金制度などを継続します。

新年度予算では新たに、

中学校卒業までの医療費助成を高校生まで（18歳に到達後3月31日まで）年齢を拡充します。高齢者や障がい者などの外出支援サービス事業は、タクシー利用券の年間上限枠を1人3冊から5冊までに拡充します。

国指定史跡となった「利神城跡」は、令和2年度から3力年事業で斜面の崩壊流出を防ぐ応急措置事業を実施します。他、農林業・商工業振興策などを予算化しました。

	歳入	金額	説明	前年比%
自主財源	町税	20億8949万円	町民の皆さんが納めた税金	△2.3
	その他自主財源	5億9033万円	使用料や手数料	9.0
	繰入金・繰越金	4億1996万円	特別会計からのお金	113.6
依存財源	地方交付税	56億2416万円	国が交付するお金	5.3
	町債	18億7620万円	国や銀行から借りるお金	△27.2
	国・県支出金	15億9026万円	国・県からの補助金	2.9
	交付金	6億6528万円	地方消費税など国が交付するお金	8.1
	計	128億5568万円		△0.8



令和2年度 予算決定

一般会計 128億5568万円

前年度比0・8%減

特別会計 80億6879万円

前年度比2・6%減

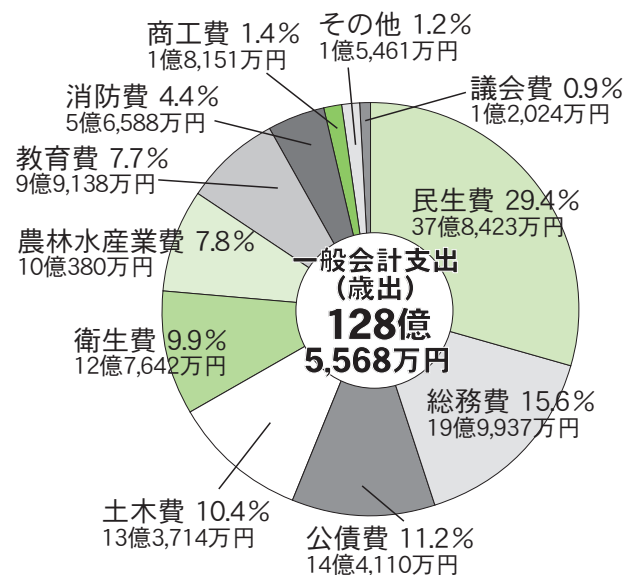
歳出	金額	説明 ☆主な新規事業	前年比%
民生費	37億8423万円	☆高校生等医療費助成932万円 ☆外出支援サービス事業拡充2058万円 ☆災害時要支援者台帳管理システム導入693万円 ☆「佐用朝霧園」移転改築6億6831万円	△2.2
総務費	19億9937万円	☆平福の旧木村郵利活用8382万円 ☆三日月支所庁舎の大規模改修と複合施設化4億1500万円	11.2
公債費	14億4110万円	町債の返済	7.3
土木費	13億3714万円	☆JR播磨徳久駅前周辺整備1500万円 ☆町道佐用中学校前線道路改良2000万円	△19.2
衛生費	12億7642万円	予防接種、検診、ゴミ処理など	11.8
農林水産業費	10億380万円	☆町内3直売所経営統合支援1600万円 ☆「佐用もち大豆」を核とした地域特産物の育成・創造推進1520万円 ☆町森林ビジョン策定業務400万円 ☆南光自然観察村ネット予約制度の導入70万円	△7.7
教育費	9億9138万円	☆利神城跡応急対策4343万円 ☆図書館システム再構築1024万円	11.4
消防費	5億6588万円	☆消防団車両更新 1050万円	1.9
商工費	1億8151万円	☆ビジネスプランコンテストの実施200万円 ☆小規模事業者支援補助金新設450万円	7.4
その他	1億5461万円	諸支出金、予備費など	△53.1
議会費	1億2024万円	議員報酬、議会だより発行など	4.9
計	128億5568万円		△0.8



▲木内内則作「利神城想像復原図」



▲利神城跡



予算特別委員会で新年度予算案について質疑

木村邸の利活用、ビジネスプランコンテストなど、 2日間の議論深まる



新年度予算については、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、3月4日・5日に審議しました。初日に一般会計、二日目に特別会計について審議をしました。質疑の中から、主なものをご紹介します。

予算特別委員会
委員長 岡本 義次
副委員長 廣利 一志

一般会計

〈歳入〉

町税

問 歳入見込みの減少は、

答 地価の下落傾向が著しく固定資産税に影響がある。軽自動車については税率の改正の影響が考えられる。たばこ税については減煙傾向で減収は続くと思われる。

問 軽自動車の取得税がなくなり交付金で補てんはあるが税収の見通しは、

答 自動車取得税は昨年の消費増税でなくなり、環境性能制となった。電気自動車とか燃費20%達成で非課税なので税収は減る。交付金はあるが登録台数も減る傾向なので税収減は続くと思う。

問 法人町民税

問 大幅な減額見込みの要因は、

答 昨年10月の消費増税で法人町民税の法人税割が9・7%から6%に減

少で法人税収入に大きな影響を考えている。

地方交付税

問 合併算定替えの影響

答 地域社会再生事業費の地方財政計画に420

問 総務費

問 木村邸の利活用

問 平福の木村邸の事業規模と主体は、

答 母屋と観光駐車場に6千万予定している。酒造場に関わる新会社「かのね」の自己資金に対する2分の1の補助で上限2千万を負担金として予

問 地域自治包括交付金

問 地域づくり協議会の振り返りで増額は、

答 検討は必要だが、全体が見直されるまでは現状のままと考えている。



▲木村邸の酒蔵跡

三日月支所改修

問 住民の声を聞いて設計変更あるか。

答 4億を超える予算でコミュニティ施設と健康づくりの拠点に考えている。大きな変更は出来ない。



▲改修予定の三日月支所

民生費

災害時要支援者台帳

問 自治会長等への情報開示は。

答 要介護度、障害の程度などから避難経路、支援者の氏名などをシステム導入し行い、個人情報観点から同意を頂き自治会長に情報開示し作成してもらう。

障害者福祉費

障害者の虐待防止

問 虐待防止の推進、障害者の虐待防止の体制は。

答 佐用町障害者虐待防止ネットワーク会議を設けて運営委員会で事例研

衛生費

にしはりま環境事務組合への負担金

問 負担金が3600万の増額は姫路市の脱退が影響か。たつの市の脱退は。

答 姫路市の脱退も影響している。たつの市が脱退の意向を示されているが施設の運営とか負担金など影響が大きいので上郡町、宍粟市と連携してたつの市と協議したい。

農林水産業費

地域特産物の高付加価値化

問 栽培を増やすことは。

答 もち大豆の栽培拡大については買い上げ価格をキロ30円上げ生産者を支えたい。ただ水稲になわず行き詰まっているのが現状。

直売所の統合

問 3施設の形態が違うが統合への考えは。

答 出資金等を全部清算する事を考えて予算化した。

商工費

ビジネスプランコンテスト

問 運営、内容は。

答 運営費100万、賞金100万を考えている。運営を企業支援、コンサルに携わっておられる(株)コバコに委託を考えている。

※ビジネスプランコンテストとは…新たな起業者の発掘と人材ネットワークの拡大・地域経済の活性化を目的に行われるコンテスト

消防費

西はりま消防への負担金

問 佐用消防署の女性職員の更衣室設置にどう対応するのか。

答 太子町のように負担金を出さず、佐用町の行政財産などで本町で改修を行う。

教育費

利神城の整備

問 石垣の整備と登山ルートは。

答 来年度から3年



▲もち大豆の生育状況の確認



▲ビジネスプランコンテストの委託先(株)コバコ



▲利神城跡への登山道

特別会計

国民健康保険特別会計

問 予算減額の要因は

答 前年に比べて6288万減額だが要因は。

答 今回の改正で資産

間の応急対策を行う。その後石垣の復旧・整備工事をを行うための整備計画を立てる予定。登山ルートは登城ルートを除く2ルートで検討したい。



▲特定健診時の様子

割が12・5%だったのを所得割に転嫁して8%になった事と被保険者数の減少が要因。

国民健康保険の資格証・

短期証

問 前年との比較及び現状は。

答 資格証は9世帯11人で前年は13世帯だった。短期証は59世帯103人。

特定健診の受診

問 受診率アップと受診結果を受けての健康づくりに対する取り組みは。

答 過去5年間で特定健診未受診かつ医療機関に

一度もかかっておられない方が、91世帯96人だったが、勧奨の結果2世帯

2名が受診された。基本健診、がん検診受診の方に勧奨し22世帯23名のうち2世帯2名が受診された。

後期高齢者医療特別会計

問 保険料の引き上げ率と平均の均等額は。

答 均等割り額が5万1371円で、2516円の引き上げです。所得割率は現行10・17%で0・32%引き上げて10・49%になる。

後期高齢者医療特別会計

問 管渠移設補償費の内容

答 三日月地区の国道179号歩道工事及び県道千種新宮線の改良工事の補償の合計です。



▲県道千種新宮線工事

簡易水道事業特別会計

施設の維持管理・補修

問 計画的な補修、施設管理の状況は。

答 アセットマネジメント計画で改築更新、維持管理を立てている。5年の更新計画で来年度更新設計を行う予定。

特定環境保全公共下水道事業特別会計

管渠移設費の内容

問 管渠移設補償費の850万の内容は。

答 三日月地区の国道179号歩道工事及び県道千種新宮線の改良工事の補償の合計です。

令和2年度予算 討論

私は賛成です

私は反対です

一般
会
計

反対

基金は暮らしを
応援する事業に
活かす

平岡きぬ糸

賛成

総合戦略に
マッチした施策
がみられる予算

岡本安夫

高等学校卒業までの医療費無料化、タクシー運賃助成券を年間5冊まで拡大は必要だ。問題は、102億円を超える基金を活用し、国保税や介護保険料・利用料の軽減。保育料・学校給食費の完全無料化。外出支援、在宅訪問歯科診療の拡充。小規模農家支援。住宅・店舗リフォーム助成など暮らしを応援すべきだ。

総合計画を基軸とし総合戦略にマッチした施策がみられる予算である。新たに、高校生までの医療費無料化、タクシー券の増刷、利神城跡の応急対策、町営住宅の入居条件緩和など関係人口の増加にも取り組んでいる。新型コロナウイルスが町民に影響がある時には思い切った支援策をとることを希望して賛成する。

国民健康保険

反対

高すぎる国保税を引き下げるとを求める

児玉雅善

賛成

被保険者の負担軽減を図っている

竹内日出夫

国保税が高くなる要因の一つが均等割りである。今回改定された国保税条例で、資産割が廃止されたが、所得割・均等割・平等割が上がったため、65%の方の負担が増えている。国保の高さに悲鳴を上げている皆さんが多い中で、負担を増やすのではなく、高すぎる国保税を引き下げることが求められる。

国民健康保険の現状は、年齢構成や医療費が高いうえ、年金受給者や低所得者が多いなど、課題を多く抱えているが、県支出金や一般会計繰入金で被保険者の負担軽減を図っている。今後とも保険事業を含む医療費の適正化に向けた取り組みなど、安定的な運営が図られることを踏まえて賛成する。

後期高齢者医療

反対

消費税増税の負担も増え、引き上げは認められない

金谷英志

賛成

高齢者が安心して医療を受けれる予算

加古原瑞樹

県連合議会で保険料条例が改定され、均等割額を現行の4万8855円から5万1371円に2516円に引き上げ、所得割額を現行の10・17%から10・49%に0・32ポイント引き上げられた。消費税増税の負担も増え、年金生活の高齢者の経済環境は厳しさを増している中、引き上げは認められない。

この制度は、県下の市町村で設置した広域連合と各市町村で運営しており、保険料も県下統一となっている。この為、広域連合への納付金が歳出総額のほとんどを占めている。歳入では、不足分を一般会計から繰り入れし、加入者の医療給付を安定的に守る予算となっているので賛成する。

介護保険

反対

一般会計からの繰り入れで負担軽減を

平岡きぬゑ

賛成

軽減制度もさらに充実されている

金澤孝良

国は、2021年度からの第8期介護保険制度で、施設入所者の食費や居住費の負担増。要介護1・2の生活援助の見直しも引き続き検討する方針だ。町は、介護の充実と改善を図るために国に制度改悪を許さない働きかけをすること。一般会計からの繰り入れで保険料の軽減と利用料減免制度を創設するべきだ。

高齢者人口が増える中、少ない費用で介護サービスを受けるための重要な制度である。その制度を安定、継続していくための保険料は、国、県、市町村で概ね半額負担されている。佐用町は一般会計より4億5千万あまり負担しているし、低所得者に対しての軽減制度もさらに充実されており全体に配慮されている。

議案審議

第3期教育振興基本計画 第2期子ども子育て支援計画 を議決

第3期

町教育振興
基本計画の策定

現行の第2期計画が本年度末で終了するため、令和2年度から令和6年度まで、5年間の計画が策定されました。

質疑

問 中学校の規模適正化は、今後どう進めるのか。

教育長 以前の計画で中学校は1校の計画だったが、来年度中には方向性を出したい。

問 SNSやLINEなど犯罪に結びつく問題への対応はどうするのか。

教育長 適切な使い方になるように教育していく。

問 教職員の働き方改革の推進はどうなるのか。

教育長 来年度から小学校に英語教育が入るなど現状は増える状況だが、子供と向き合う時間を増やすため模索中だ。

問 小中一貫教育について策定委員会ではどうであったか。

教育長 策定委員会で意見は出ていない。結果 全員賛成で可決

第2期

子ども・子育て
支援事業計画策定

現行の計画が本年度末で終了するため、令和2年度から令和6年度まで、5年間の計画が策定されました。

質疑

問 相談相手がなく、孤立した世帯の実態はどうか。

健康福祉課長 ママプラザ事業で相談等をおこなっている。

問 虐待防止の支援はどのようになっているか。

健康福祉課長 17ケース24人の虐待ケースを把握している。要保護児童対策協議会を医師など専門員で構成し、協議。個別のケースごとに園長や担任、校長などで状況を共有し、対応策を協議している。

問 計画の点検・評価はどのように公表しているのか。

健康福祉課長 子ども子育て会議で年1回評価を受けている。今後公表はホームページ等でおこなっていききたい。

結果 全員賛成で可決



▲子育て支援センターの様子

国民健康保険税条例改正

この条例改正は、税率改正で、資産割を廃止し、所得割、均等割、平等割による3方式で算定します。(関連 18ページ)

賛成討論

竹内日出夫 議員

反対討論

金谷英志 議員

この改正は、資産割を廃止するもので、資産割は、固定資産税との重複課税などの問題があり、これを是正するものだが、問題は、資産割廃止を均等割り、平等割の引き上げで穴埋めすること。これにより、最も高い引き上げは9万8300円にもなり、65・89%、1576世帯が引き上げになる。今後、医療費の適正化に努め国民健康保険財政の安定化と健全な運営を求めて賛成する。

結果 賛成多数で可決

利神・三河小学校、統合で条例改正

利神・三河小学校は学校設置条例から削除されます。

三河出張所の所管区域を旧三河小学校区に変更します。

三河保育園が閉園

三河保育園は閉園するため、保育園条例から削除されます。

利神・三河小学校体育館は、町立体育館へ管理

町有財産の無償貸付・譲渡

旧木村酒造場 (平福)

旧木村酒造場底地187㎡を株式会社かのね(代表取締役社長 四方田康次氏)に令和2年4月1日から令和22年3月31日まで無償貸付し、建物・木造315㎡は、同社へ無償譲渡します。

問 地域でのアンケート結果等地域で説明できているか。

町長 地域では経営に参加するのは難しいということになった。鹿青年部とノートで、株式会社かのねを設立。町は20年間土地を貸し付ける。地域に説明していく。



▲旧木村酒造場

三日月福祉施設 職員住宅

特別養護老人ホームサンホームみかづき職員住宅は、使用料月額22万円を25年間徴収。令和2年4月1日より社会福祉法人博愛福祉会(理事長 大西弘文氏)へ建物は無償譲渡し、底地941㎡は約400万円で売却します。

旧瓜生原邸貸付継続

旧瓜生原邸(平福)は、平成27年4月から無償貸付がおこなわれ地域の交流拠点と活用されてきました。

引き続き土地409㎡・建物5棟331㎡を令和7年3月31日まで貸し付けます。

貸付先 平福文化と観光の会 副会長 寺田茂雄氏

工事契約

養護老人ホーム 「佐用朝霧園」

移転改築工事は、平福建設株式会社(代表取締役 勝間功雄氏)と金額

8億6350万円を2600万円増額し、8億8952万円に契約変更します。また、事務機器一式は、佐用文具 山口靖典氏と767万5360円で財産の取得契約を行います。

基本協定変更

姫新線播磨徳久構内架道橋新設工事は、西日本旅客鉄道株式会社(近畿統括本部長 川井正氏)と協定金額8億4297万円を1億7800万円減額し、6億6410万円に変更します。変更の

主な要因は、工事で岩盤層がなかったことにより仮設工事が減ったためです。

三日月健康福祉施設

トレーニングルームを廃止し、三日月支所にラウンジマシンを設置します。

学童保育

学童保育は、令和2年度よりマリア幼稚園から佐用町民プール多目的ホールに開設地を変更します。

諮問

人権擁護委員

人権擁護委員の推薦は、適任としました。平井均氏(上石井)を再任

同意

教育委員

教育委員に岡田真希子氏(弦谷)を同意しました。

議 発

全会一致で意見書を採択 加齢性難聴者の補聴器購入

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設をもとめる意見書は、全員賛成で可決し、国へ意見書を送付しました。

日本の難聴者率は、欧米諸国と大差はないが、補聴器使用率は欧米諸国と比べて低く、日本での補聴器の普及が求められている。

意見書(要旨)

加齢性難聴は、加齢によつて起こる難聴で、誰でも起こる可能性がある。

しかし、日本において補聴器の価格は、片耳当たり概ね3万円〜20万円であり、保険適用ではないため全額自費となる。

補聴器の更なる普及で高齢になつても生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながると考

える。よつて、国におかれては、加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度を創設するよう強く要望する。



▲旧瓜生原邸



3月11・12日、7人の議員が一般質問を行いました。

- 金谷 英志 議員 11
 - ① 田園回帰・地域づくりの具体化
- 千種 和英 議員 12
 - ① 教育に関する子育て支援
 - ② 地域おこし協力隊の活動内容と今後の見通し
 - ③ 新型コロナウイルス感染症の対策
- 平岡きぬゑ 議員 13
 - ① 総合的な公共交通システムの確立
- 岡本 義次 議員 14
 - ① 獣害動物処理場の設置
 - ② 伊藤真波さんの講演会
 - ③ 小学校や保育園の備品
- 加古原瑞樹 議員 15
 - ① 人口減少が及ぼす影響とその対策
- 廣利 一志 議員 16
 - ① 人口増（社会増）への取り組みの具体策
- 児玉 雅善 議員 17
 - ① 町に居住されている外国人の就労・就学の実態
 - ② 利神城跡の対策

7人の議員が斬りこむ

佐用町のことが聞きたい

※記事および写真は質問をした議員から提出されたものです。質問・答弁の全文は会議録としてホームページに掲載しますのでご覧ください。なお、掲載順は毎回くじ引きで決めています。

地域人口1%増にどう取り組む

町長一数量指標にとらわれず進める



かなたに えいし
金谷 英志 議員

問 本町では、「地域づくり協議会あり方再構築の方針」を昨年に策定し、地域づくり協議会の取り組みを進めているところだが、毎年、地域人口の1%分を、新たに取戻していけば、地域人口の安定化が見えてくるといわれている。この、1%増の取り組みをどう進めるのか。

町長 理論的には参考にしたと思うが、数字のマジックのようなもので、人口が固定していない中、毎年1%を増やすというのは大きな数で、実現は不可能。人口減少対策は行っていくが、数量的な指標に過度にとらわれることなく進める。

問 所得取戻しの上で重要部門なのは、農業と林業だが、この部門の経済循環をどう図るのか。

町長 農業は、所得取戻しの金額が多く潜在している。食の地産地消により経済循環が図られると考える。

問 定住の促進と地域内経済の循環の強化施策に対応するには、町行政組織は縦割りではなく企画、農林、福祉、商業・観光を横断した態勢が必要ではないか。

町長 縦割りは、最も効率的に組織運営ができる



▲「さよう 民活 フォーラム 2020」

メリットがあるが、横断的組織も必要だと考えている。町プロジェクトチーム設置規定を策定し、必要に際して組織化しており、ここで特定の課題解決のために各課から担当者を集まり連携を図る。

問 今すぐやれる施策として、高齢者や障がい者などゴミ出しが困難な方に対して支援が必要ではないか。この支援には国から財源が手当てされる。

町長 ゴミ集積所は各自治会で管理していただいており、自治会での取り組みに支援していきたい。

「ゴミ出し」に支援を



▲ゴミ集積所・茶屋

子育て支援としての教育をどう考える

教育長ーアイデンティティを育むのが教育である



ちくさ かずひで
千種 和英 議員

企画防災課長

駅前(株)

コバコに指導・助言を外部委託している。

問 課題分野のエキスパートやスペシャリストの採用は考えられないか。

町長 期待するのは難しい制度だと考えている。



▲地域おこし協力隊活動報告会の様子

問 今春の区域外通学の予定人数と近年の推移は。

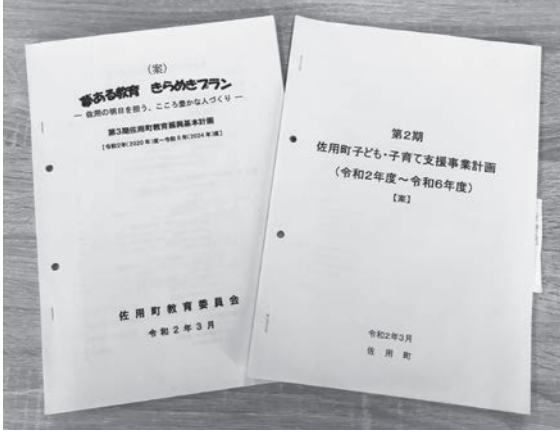
教育長 他市町

への進学は27人で、町内生徒の7.1%。近年はほぼ同じ位。

問 中学校部活動の実施方針は。

教育長 生徒数

や教員数の減少等の要因で新設は、厳しいと保護者にも説明し理解いただいている。



▲《教育基本振興計画》と《子ども子育て支援事業計画》は両輪で

問 卒業後のUターンに向けての取り組みは。

教育長 (町長の意見を

受けて) 郷土愛を養い、若者定住心援助金を交付しており、さらに3年間延長する。

問 学童保育の見直し、例えば

町営の塾化等は考えられないか。

教育長 預かるのが趣旨であり、考えていない。

問 高校の魅力化、人材育成には取り組めないか。

町長 連携して積極的に

取り組んでいる。キャリア教育は中学生の段階では早すぎる。

問 地域おこし協力隊の活動と今後の見通しは。

町長 国・県版を合わせ

て5名採用。着任1年での成果を計るのは性急だが徐々に将来への取り組みも進めており、今後必要な支援は続ける。

問 外部人材との連携は。

問 新型コロナウイルス感染症の対策は。

町長 町内発症例はない

が、近隣では発症している。町では警戒本部を設置し、町主催イベントの開催是非、予防対策の協議を重ねている。小中学校の臨時休校の要請を受け休校している。

問 医療機関の体制は確認できているか。

町長 健康福祉事務所、

県帰国者接触者相談センター、感染指定医療機関等の基本的な対応の内容を確認できている。

問 児童生徒や保護者のケアはできているか。

教育長 家庭学習や週一回の家庭訪問、学童保育で対応している。

問 経営への影響調査や対策は。

町長 十分に対応してい

く。

利用者負担金の軽減や利便性の向上を

町長一地域にあった地域公共交通を継続する



ひらおか
平岡きぬる議員

問 外出支援サービスについて、福崎町では、地域に職員が出向き、様々な要望にきめ細かく応える改善や連携によってサービスの向上を続け、昨年度に国土交通大臣表彰を受けた。また、運転免許返納後のサービスは2年間などになっている。

町長 毎年地域公共交通会議を開き佐用町に適したシステムを整備しており、変えるつもりはない。

問 従前より関係者の要望である、さよさよサービスの毎日運行、福祉タクシーの利用回数制限の撤廃についてどうか。

町長 タクシー事業運営助成制度は、今年度から



▲コミバス

チケット3冊までから5冊購入に拡充する。

問 コミュニティバスの休日運行や江川ふれあい号の支援をつよめることについてどうか。

町長 コミュニティバス

佐用船越線・三日月テクノ線の運行は現状維持する。江川ふれあい号の車両を更新する。

問 姫新線の通学時間帯の車両増や便数増についてどうか。

町長 通学時間帯の列車は、高校の要請で姫路鉄道部で増便してもらっている。要望は継続していく。

問 兵庫県が行革プランで削減された過疎バスなどに対する県単補助額の復活を求めることについてどうか。

町長 過疎バスへの財政支援は、民間バス路線存続のために、平成30年度より県単独自補助から地方振興特別交付金と県交付金となった。町の負担率7%は変わっていない。

問 公共交通の充実には、マイカー使用のライフスタイルか

らの転換や、健康・環境・省エネ、魅力的なまちづくりへと繋がると思うが町長の見解を求める。

町長 マイカーの使用は現段階では生活上やむを得ない。姫新線の片道切符を助成している。町職員の省エネ対策では、高年大学時のノーマイカーデーや出張時の公共交通利用を行っている。また、公用車は負荷の少ない車両を入れていきたい。



▲姫新線を利用した校外学習

多くの町民が参加して捕獲を

町長―県の免許資格がいる



おかもと よしつぐ
岡本 義次 議員

獣害処理場について

問 猪、鹿、猿など、獣害に町民は米、野菜、果物を食べられて困っている。猟友会の方に頑張って捕獲してもらっているが高齢化で会員も少なくなっている。山から出てくる獣道に檻や罠で効率よく捕獲出来る。捕獲しても自分で処理出来ない方は処理場に連絡し、持ちかえってくれば、多くの方が参加してくれ

る。猿の捕獲料金を高くして捕獲し、町民を困らせないようにしていただきたい。

町長 すでに二箇所町内にあり、埋設や、西はりまクリーンセンターで処理してもらっている。

設置されている檻



▲設置されている檻

伊藤真波さんの講演会

問 人権フェスタで交通事故で右腕をなくした、伊藤さんの講演会があったが二割程で空席が多かったです。右手をなくしても頑張る看護士の資格を取

り儀手でウエイオリンをひき、足で子供のおむつを交換。左手だけで平泳ぎ、バタフライの選手として頑張られた。小中学生全員に授業の一環として見たら、もっと頑張らなければと思う。良い効果が出てくる。

教育長 私も見て感動した。広報や放送等で呼びかけたが参加者が少なかった。片足の山本さんの講演会も良かったと聞いている。もっと多くの方に参加してもらいたい。

品 小学校保育園の備

問 閉校の備品と跡地利用はどうするのか。

町長 机、椅子等は利神小は佐用小へ、三河小は南光小へ、三河保育園は南光保育園に使用する。跡地利用は地域の方と協議していく。

問 私の提言だが、県下で七千人からの不登校の生徒がいる。兎、山羊、羊を育てたり、さつま芋

を作ったり、ゆっくり、ゆっくり、勉強していけば、国や県も支援してくれる。家族も元気になるのを待っている。家に引きこもりの方も多く、佐用から元気にしてやってほしい。いかがか。

教育長 不登校の生徒は個々の中身が違い、適応教室や家庭訪問して、適応しており、集団生活が出来なかったりして、難しい問題である。



▲閉校になった利神小学校

人口減少への対策は

町長一持続可能なまちづくりに取り組む



かこはら みずき
加古原瑞樹 議員

問 総合戦略の周知は、理解してもらえる方法を考えているか。

町長 分かりやすいダイジェスト版を作成する。

問 定住促進では、空き家バンク登録の物件数が減少している。自治会長負担軽減の為に、民間の不動産会社との連携は取れないか。

商工観光課長 法的な問題がなければ民間事業者との連携を研究したい。

問 第二期総合戦略の重点施策で佐用高校と連携した人材育成と地域活性化とあるが内容は。

企画防災課長 今までの取り組みに加え、家政科を中心に「食」への取り

組みを考える。

問 郡内中学校から佐用高校への進学者が5年前の63%から49%に減少している。高校卒業後就職先はあるが、地元へ就職からの定住を考えると人口減少への影響が、大きいと思う。佐用高校への支援や連携が重要だと思

町長 佐用高校の役割は非常に大きい。今後も地域で支えながら、人材育成を期待する。

問 住民アンケートによると子供2人家庭が45%と多いが、希望の子供の数は3人が44%と多い。理想の子供の人数を産めない理由は、経済的な理

由が最も多くなっている。そこで、他市町で実施されている奨学金制度では、卒業後に地元で定住すれば元金及び利子を免除するといったような制度があるが、導入は考えられないか。

町長 将来的な計画をして家庭を営んでおられる。子育ては大変だが、一番やりがいのある仕事。今の子育て支援を継続してやっていく。

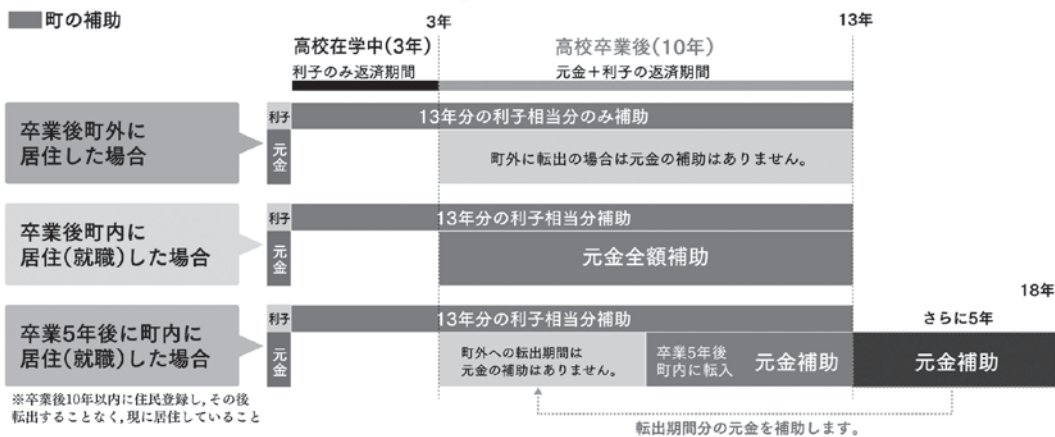
問 他市町に比べ子育て支援は充実しているが、子ども年代によって支援の配分を変える必要が

あると思う。今後の取り組みはどのようなのか。

町長 町として可能な事は取り組む。ただ、人口減少対策には時間がかか

る。町民の皆さんが安心して生活を続ける為には、次世代の人達が努力する事。そのことを皆さんにもお願いしたい。

金融機関から高校在学時に「ぶり奨学ローン」を利用した場合



人口の社会増への具体策は



ひろかが かずし
廣利 一志 議員

町長―子育て世代支援定住支援策等地道にやる

問 佐用高校の学科を地域のニーズを聞いて編成替えはしないか。

町長 県立高校なので県に権限があり、町としては施設整備など要望を聞いて拡充に協力している。
問 高校生たちに、企画段階から参加を図るべきだ。

企画防災課長 家政科の生徒にトマトの商品化に企画段階から参加してもらい協議している。食のプロフェッショナルをつくる事業にも参加予定だ。

生涯学習課長 人権フェスタでは放送部には進行的に、文化祭では家政科の生徒にファッションショーに参加してもらっている。企画からの参加を佐用高校と協議したい。

問 高校生が卒業後に地元に戻って来ない。



▲トマト加工品の見本市に参加した佐用高校生

いのが社会減の大きな要因だが高校生たちの生の声を聞くべきだが。

町長 様々なイベントの機会に聞かせていただいている。

問 駅前の空き家を高校生たちと地域の接点である「サードプレイス」として整備の考えは。

町長 佐用駅前のコワーキングスペース「コバコ」を高校生が活用しているのは知っている。町が設けることはしないが、コバコへの支援が可能か。

考えたい。

問 町営住宅は499戸あり、88戸の空き室があるが移住希望者向けの体験住宅として使うべきかと思うが見解は。

町長 公営住宅法の関係上、体験的利用まで拡大は考えていない。

問 空き室改善に向けた検討は。

商工観光課長 今回の条件緩和が第一歩、さらに有効活用を前向きに考えたい。

問 空き家バンクの改善

点は。

町長 登録件数が少ない事、広報を充実させ売買だけではなく賃貸の理解を得る事だ。

問 空き家の調査に関して、自治会長に協力依頼は。

町長 空き家バンク創設以来多大なご協力をいただいた。地域づくり、安全対策、危険空き家等を考えて自治会長の皆さんに更なる協力を頂けたらと思っている。



▲コワーキングスペース「コバコ」

外国人の就労・就学の実態は

町長一学齢期の子供はいない



こだま まさよし
児玉 雅善 議員

問 外国人居住者は何人で、年代別、また男女の比は。

町長 168名で18歳以下は1名、19歳から29歳が106名、30歳以上が61名で男性が77名、女性が91名である。

問 就労者は何名か。

町長 技能実習生として10数社に100名以上働いている。

問 学生は何名か。

町長 日本語学校に17名。不登校になっている児童はいないか。

町長 学齢期の子供は居住していない。

問 生活に困窮している人はいないか。その支援策は。

町長 担当課にも相談がないので、困窮している方はいないものと思う。

問 各地で、技能実習生の失踪など問題が起きているが、本町では起きていないか。

町長 本町ではそういう事は起きていない、給料面など、技能実習生は決して安価な労働力ではない。

利神城跡の対策を問う

問 登山禁止になってから、問い合わせは何件くらいか。

教育長 年に数件。国指定後は月に数件。



▲利神城跡の石垣

問 対策が進まなかった理由は。

教育長 私有地が多かったことと、国指定が進まなかったから。

問 策定委員会の保存活用計画の発表はいつになるのか。

教育長 パブリックコメントなどを取ったうえで、3月末に予定している。

問 対策はいつ始まるのか。

教育長 来年度からの3年計画で防災施設整備事業として、落石防止ネットの設置や、崩落などを防ぐ土嚢やシートの設置などを行う。モノレールを設置して、資材を運ぶ。着工は10月以降となる見込み。



▲利神城跡

委員会付託案件の審査報告

総務常任委員会 (3/6)

産業厚生常任委員会 (3/6)

総務常任委員会
委員長 千種 和英

■佐用町個人情報保護の保護に関する条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、個人情報について目的外利用の制限をした条例であり、町が、実施する事務遂行に必要な限度で、個人情報(特定個人情報除く)を、内部利用する場合、また、当該個人情報を利用することに合理的な理由のあるときは、これを例外としようとするものです。

問 個人情報保護の担保はどこですか。

答 個人情報保護条例という非常に厳しい条例があり、これが担保です。

反対・賛成討論 なし
結果・全員賛成 可決

■佐用町職員の給与に関する条例および佐用町会計年度任用職員の給与お

よび費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、職員の間外勤務手当の単価の算出方法を、従前の祝日の日数を概算で計算する方法では時間外単価が低くなり、不利になるので、祝日の実数での計算する方法に改正するものです。

問 全ての職員が有利になるのですか。

答 全職員が計算上、有利になります。

反対・賛成討論 なし
結果・全員賛成 可決

■佐用町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、特殊勤務手当の中に、動物死体収集作業手当を追加するものです。

職員が処分する時、腐敗が進み衛生上問題もあり、その作業が特殊勤務

に該当するということで、作業手当として、1日に700円を支給するものです。

問 1日につき700円。1日に2回、同じ職員が行った場合も、700円なのですか。

答 1日につき700円です。

反対・賛成討論 なし
結果・全員賛成 可決



▲処分するシカの死体

■佐用町立学校の学校医、学校歯科医、および、学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定について

この条例制定は、兵庫

県の町村会が窓口で、消防団員の公務災害と同じように町村会に申し込みをして、町村会はその保険を損保ジャパン日本興亜に委託して、補償が実施されるとい内容です。

問 過去に公務災害の事例はあったのですか。

答 校医についてはありませんが、他の非常勤職員については過去にありました。

反対・賛成討論 なし
結果・全員賛成 可決

■佐用町非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、学校医、学校歯科医等は、佐用町非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の中に含まれていたが、単独で条例を設けるので、この条例からはそれを除くというものです。

質疑 なし
反対・賛成討論 なし
結果・全員賛成 可決

産業厚生常任委員会
委員長 加古原瑞樹

■佐用町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、税率改正で、資産割を廃止し、所得割、均等割り、平等割による3方式での算式とします。その賦課割合は国民健康保険法施行令及び、地方税法に定める標準割合、所得割 50%、均等割り 35%、平等割 15%を基本とし、また、保険税として必要な額を確保できる税率を改正案として提案している。令和2年度においても一般会計からの法定外繰り入れを実施し、税額的大幅な増額を避ける方策をとるものです。

問 なぜ資産割を廃止するのですか。

答 県で統一の保険料を徹底するにあたって、4方式の資産割を廃止し3方式にします。

野生動物の死体処理作業に特殊勤務手当を支給 外出支援事業（タクシー運賃助成事業の拡充） 町営住宅等入居要件の緩和

問 被保険者の税負担が大きくなりすぎないよう法定外繰り入れをしているが今後の見通しは。

答 当面法定外繰り入れを解消するという考えはないが、県下の状況も把握した中で健全運営に努めます。

反対・賛成討論あり
結果・賛成多数 可決

■佐用町南光自然観察村条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、収支状況に於いて、経常的な経費が概ね三百万円程度の赤字という運営になっているが、一方で約1万7千人の県内外からの利用者があり、観光振興面では非常に重要な一端を担っている施設です。その運営の健全化を一層進めるために需給実態に応じた料金体系を導入するものです。

質疑・討論なし
結果・全員賛成 可決



▲南光自然観察村

■佐用町市町村運営有償運送事業費用徴収条例の一部を改正する条例について

この条例改正は、タクシー運賃助成事業の平成30年度の利用実績は年間延べ利用者が約1万4千人で、10年間で約五千五百人、28%の減少となっているなかで、助成券購入者の34%の方が、上限の3冊を購入している。高年齢者や障がい者の方々の自立した生活支援をより充実するために上限を5冊に改正するものです。

問 自宅までの駐車場が遠く行き先が近くなった場合の配車費用は、誰が負担するのですか。町が規定を設ける方が良いと思いますが。

答 事業者と直接交渉し、利用者が納得の上で負担してもらっています。町で配車料金設定をする事は考えていません。討論なし

結果・全員賛成 可決



▲タクシー運賃助成事業の拡充

■佐用町営住宅条例の一部を改正する条例について

■特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例について

ついて

■改良住宅条例の一部を改正する条例について
■定住促進住宅条例の一部を改正する条例について

（関連があり一括質疑）

この条例改正は、入居希望者の要件を緩和することにより、町営住宅の空き家戸数を減少させていくことを主眼に、連帯保証人の廃止、みなし特定公共賃貸住宅としての活用、同居親族要件を廃止し、希望者が入居しやすい町営住宅に改善する為の改正です。

問 今後の公営住宅の在り方・方針をどう考えますか。

答 佐用町の人口動態や町内民間マンションの保有戸数を踏まえつつ、必要であれば改築建替、または除却する方向で住宅施策を展開していきます。討論なし

結果・全員賛成 可決



▲広報研究研修会場

広報研究会が、令和2年1月28日に開催され参加いたしました。
議会広報特別委員会
委員長 竹内日出夫

閉会中の委員会活動・研修

総務常任委員会 2月5・6日 (高知県)
産業厚生常任委員会 2月10日 (大阪市)

総務常任委員会研修報告

◆地域おこし協力隊の取り組みについて

(高知県四万十町)

◆租税債権管理機構の取り組みについて

(高知県高幡広域市町村圏事務組合)

総務常任委員会

委員長 千種和英

佐用町では、現在、国版の地域おこし協力隊4名と県版地域おこし協力隊1名の、計5名を採用して各分野で活動を行っています。

四万十町では現在までの7年間に47名を採用し、その応募は144名でした。全国有数の採用人数と応募人数の多さの理由と、それに伴う移住定住に関する取り組みを研修しました。

人気の理由としては「四万十」というネームバリューが大きく、それは以前からの「まちおこし」や「農業振興による産業の創出」に裏打ちされたものでした。その取

り組みは、「シティーブロモーションから移住定住へ」とコンセプトも移行され、また隊員によるホームページや、インスタグラムやフェイスブック等のSNSでの魅力発信効果も大きいとのことでした。

また、町担当者も頻繁に東京を中心に各地へ出かけ、情報の発信や収集、移住希望者や支援企業、報道機関との関係構築し、活用されています。東京事務所も設置し、日常的に東京の四万十ファンと交流され、交流人口・関係人口の増加に取組んでいます。定住促進施策としては、

移住施設(住居)として
・お試し滞在住宅・中間管理住宅・移住支援住宅の管理運営をされています。最短1カ月からのお試し滞在で地域を知ってもらい定住に繋げ、町が空き家を所有者と賃貸借契約し、改修費用は有利な補助金を活用しながら運用されています。



▲四万十町現地視察

実質の町の負担額は少額で、空き家所有者も負担がなく、固定資産税相当額が支払われるので、売却と違い契約のしやすさ方法を導入されています。現地での物件見学もさせて頂き、佐用町においても調査研究等参考になる取り組みでした。



▲須崎市での研修

須崎市は、平成14年に、租税の滞納整理組織設置を県に要望、調査研究し、近隣市町と圏域で租税債権管理機構を設置されました。機構が設立された

ことにより、市民の意識改革が進み滞納整理が強化されています。


また、納税折衝における対応の強化、債権の差し押さえ、搜索を実施しインターネット公募も実施され、その際の生活困窮やネグレクト、DV等を把握した場合は福祉部局や顧問弁護士と協議・相談して弱者支援やアドバイスが行われています。昨年から税以外の債権(保育料・介護保険料、後期高齢者保険料、下水道使用料・下水道受益者負担金)の徴収業務も委託されています。

佐用町においても昨年、債権管理条例を制定し、穴粟市と徴収職員との併任人事協定を結び、その徴収と管理に努めておりますが、租税、使用料や負担金の納付の公平性の観点から佐用町においても一層の改善の必要性を感じました。

一般質問の録画・インターネット放映

佐用チャンネル 6月議会の一般質問の様子は7月に2回に分けて録画放映します。

インターネット パソコンでいつでもご覧いただけます。

佐用町の公式ホームページから、佐用町議会をクリックしていただき、
一般質問の録画画像 を  クリックしてご覧ください。



6月定例会の予定

- 6月
 - 2(火) 本会議(議案上程)
 - 3(水) 一般質問
 - 4(木) 一般質問
 - 5(金) 一般質問
 - 9(火) 本会議(質疑)
 - 10(水) 総務常任委員会
 - 11(木) 産業厚生常任委員会
 - 19(金) 本会議(討論・採決)
- ※一般質問の様子は佐用チャンネルで放映します。

訂正とお詫び

議会だより第54号P17「委員会の活動」〈学校訪問〉において、現地視察写真を(南光小学校)と記載しましたが、正しくは(佐用小学校)です。訂正してお詫びします。

表紙写真によせて



南光保育園の園児たち

3月5日雨あがりの午後、南光保育園にお伺いしました。園児たちは室内で遊んでいましたが、年長さんに写真撮影のため運動場に集まっていたきポーズをとってもらいました。

3月5日雨あがりの午後、南光小学校に入学することとなります。新しい友達とも仲良く元気いっぱい勉強に運動に頑張って、郷土の発展に役立つ人材に育ってほしいです。

写真 金澤 孝良
 文 竹内日出夫

編集後記

私たち議会広報特別委員会6名で編集いたしました議会だより「さよう」も今回が最終号となりました。2年間わかりやすく、読みやすい議会だよりに努めてまいりましたが、まだまだ議会の専門用語など、十分に理解していただけない表現があったことを反省しています。次号から、新しい委員での編集となりますが、さらに私たちの議員活動がわかりやすく、そして読みやすい議会だよりとなるよう引継ぎしたいと思います。

金澤 孝良

議会広報特別委員会

- 委員長 竹内日出夫
- 副委員長 金澤 孝良
- 委員 小林 裕和
- 委員 廣利 一志
- 委員 石堂 基
- 委員 平岡きぬゑ

